



図書館主催ガイダンスを活用しよう！

知っていましたか？

拓殖大学図書館には、みなさんの大学生活をサポートするための、さまざまな情報が詰まっているんです。

「図書館にいけば、お目当ての本があるかしら？」

「レポート書かなきゃならないけど、どこから手をつければよいか分からない...」

「英語で本を読んでみたい！外国の新聞を読んでみたい！」

「昔の新聞記事を探しているんです」

「そろそろ就活...、準備しなきゃ...」

「卒論・卒研で使うために、いろいろな情報を集めたい！」

GoogleやWikipediaなどインターネットの情報だけで済ませていませんか？

図書館では、たとえばそんなみなさんに、図書館の活用のしかたを分かりやすく紹介する“図書館主催ガイダンス”を定期的で開催しています。図書館が提供する正確で、安心な、たくさんの情報をじょうずに活用して、より充実したキャンパスライフに役立ててください。



もちろん、この他にも、みなさんの希望に添ったガイダンスをいつでも行います。お友達同士でも大歓迎です！ぜひ気軽に参加してみてください。

さあ、みなさんも、大学図書館を使いこなしてみませんか？



特集

新しくなった八王子図書館を 学生アドバイザーがご紹介します!!

わたしたちは図書館で育ってきている

わたしは1974年に拓殖大学商学部の専任講師になり、第二外国語のインド・パキスタン語(インドの公用語ヒンディー語を中心とする)を担当するようになった。そのころの図書館は、文京キャンパスに本館が、八王子キャンパス⁽ⁱ⁾に分館があった。わたしはどちらにも足繁く通い、インド関連の本や雑誌を読みあさった。自らが学び、学生には研究結果を文集にまとめて門で配布するよう薦めた。そのために学生とともに夜おそくまで、ガリ版印刷をした。そうこうするうちにわたしは、助教授に昇任した。

助教授のころにわたしは、ヒンディー語東部のボージュプリー方言と、中部のカリー・ボーリー方言の昔話を聴きに北インドに行った。前者の邦訳『インドのむかし話一天にのぼるベールの木ほか』が、偕成社から1989年に公刊された。これは子どもでも読めるように、すべての漢字にかなが振ってある。カリー・ボーリー方言で聴いてきた『ヒンディー語民話集』は、1999年に大学書林から公刊された。これは原文を左ページに、邦訳を右ページに配した対訳方式を採っていて、文法を習ったばかりの人の格好の教材になる。自分が書いた本が、勤務先の大学図書館に置かれるのは誇りだ。

図書館の八王子分館はそのころA館の何階かにあって、教室七つ八つくらいの大きさだった。

わたしは1983年に教授に任じられた。その四年後の1987年のはじめに、親しい同僚から電話があり、「今度の学内選挙で驚くな、君は図書館長に選ばれる可能性が大きい」と言ってきた。しばらくして行われた選挙の結果、わたしは多くの票をいただいて46歳のときに図書館長に選ばれた。

次の年度には、本館が文京から八王子に移された。八王子キャンパスの図書館は、A館の仮のものから

独立した大きな建物になっていた。館長としてのわたしは、図書館運営委員⁽ⁱⁱ⁾の教員方や図書館職員方の協力を得て、八王子本館と文京分館の役割を決めること、新設の工学部の教員と学生にとって利用しやすい図書館を創ることなどに力を注いだ。また図書館の司書や職員が機会あるごとに研修を受けられるよう、図書館の高柳部長と計らった。またわたしは八王子と文京の二つのキャンパスで講義していたので、両方の図書館をよく利用した。

こうして三期六年にわたって、図書館を創ることに務めた。自分の目標をほぼ達成できたと感じたときに、図書館長の役割を離れた。だが利用者としてのわたし、学生を導く立場にあるわたしは、それからも図書館のお世話になっている。

八王子の一般教養科目でわたしは、〈昔話の世界〉という半年の講義を担当していた。日本の昔話、北インドの昔話、ドイツのグリム兄弟の昔話について基本情報を提供し、学生がそれらについて調べてレポートを書く。こうして書かれたレポートをわたしが印刷・合冊し、学生みなに配布する。そうすると図書館で昔話のことを調べる学生が多くなる。そのさまを見ていて、図書館の人はそのコーナーを充実させてくれる。学生もわたしも、こうして図書館で育ってきているのだ。



坂田 貞二 (拓殖大学名誉教授、元図書館長、平成29年春に瑞宝中綬章を受章)

(i) 現在の八王子国際キャンパス (ii) 現在の図書館委員



図書館

〒112-8585 文京区小日向 3-4-14
TEL 03(3947)7229

八王子図書館

〒193-0985 八王子市館町 815-1
TEL 042(665)1483

拓殖大学図書館

検索



■ガイドブック・就職資料

こちらのコーナーでは、様々な資格取得に役立つ参考資料や、過去問題集が並べられています。またガイドブックは、主に日本国内をエリアごとに区切って、一ヶ所ごとの地域の魅力をぎゅっとつめこんだ「まっぴるマガジン」、主に海外を国ごとに区切って紹介している「地球の歩き方」という本がとても充実しています。国内旅行や留学をする際に、絶対に行くべき定番スポットから、現地に住んでいる人しか知らないような穴場スポットまで、詳しくのっているので、ぜひ活用してみてください。常に最新号が並べられているので、流行に敏感な人にもおすすめです。(商学部 1年)



■1Fサービスカウンター・レファレンスカウンター

八王子図書館のサービスカウンターとレファレンスカウンターは一つの場所にあるので、パソコンの貸し出し、本の返却、調べ方についての質問がまとめてできるため、とても便利です。八王子図書館はリニューアル後、1Fにカーペットが敷かれました。そしてカウンターの前には小さな椅子と展示コーナーが置かれています。カウンターが混んでいて少し待たなければいけないときに、友達と椅子に座って一緒に待つこともできるし、展示コーナーを見たり展示コーナーの本を座って読んだり、時間をつぶすことができます。(商学部 1年)



■展示コーナー

八王子図書館内には、1Fに3ヶ所、2Fに1ヶ所、計4ヶ所の展示コーナーがあります。入り口の中央の柱前には館内展示の紹介ボードを、図書館スタッフの方が月に合わせてかわいくデザインしてくれています。例えば、6月だと梅雨なので雨のモチーフになっています。館内1Fの展示コーナーには、レポートの書き方などのガイダンスや講義の内容に合わせたテーマ展示が飾られています。展示に合わせた館内情報が掲載されていてとても分かりやすく見やすいです。そして、2Fには文庫・新書の展示コーナーがあります。ここは季節やテーマに合わせた本が置かれていますので、ぜひ手に取って見てください。また、ポスターの展示コーナーもあり、拓殖大学やロフト、無印良品ロゴをデザインしてくれた田中一光さん*のポスターも飾られています。(商学部 1年)

*田中一光さんのポスター展示は8月末で終了しました。次回の展示をお楽しみに。



■雑誌コーナー

雑誌コーナーでは、専門科目に関する雑誌、教養教育科目に関する雑誌を数多くそろえています。自分が履修している授業の分野について、客観的な知識を身につけることができるかもしれません。また、ファッション、スポーツに関するエンターテインメント系のものや、将棋、鉄道に関する趣味系のもので、自分の興味をより深く広げてくれる雑誌もあります。最新号は棚の表に展示されているので、こまめにチェックしていると、気になる記事や知っておくと役立つ情報をたくさん得ることができるかもしれません。バックナンバーも最新号の後ろにある扉を開けると中にまとめて入っているので、お気に入りの雑誌を定期的に見なくても、過去のものを一気に読むことができ便利です!(商学部 1年)

2F

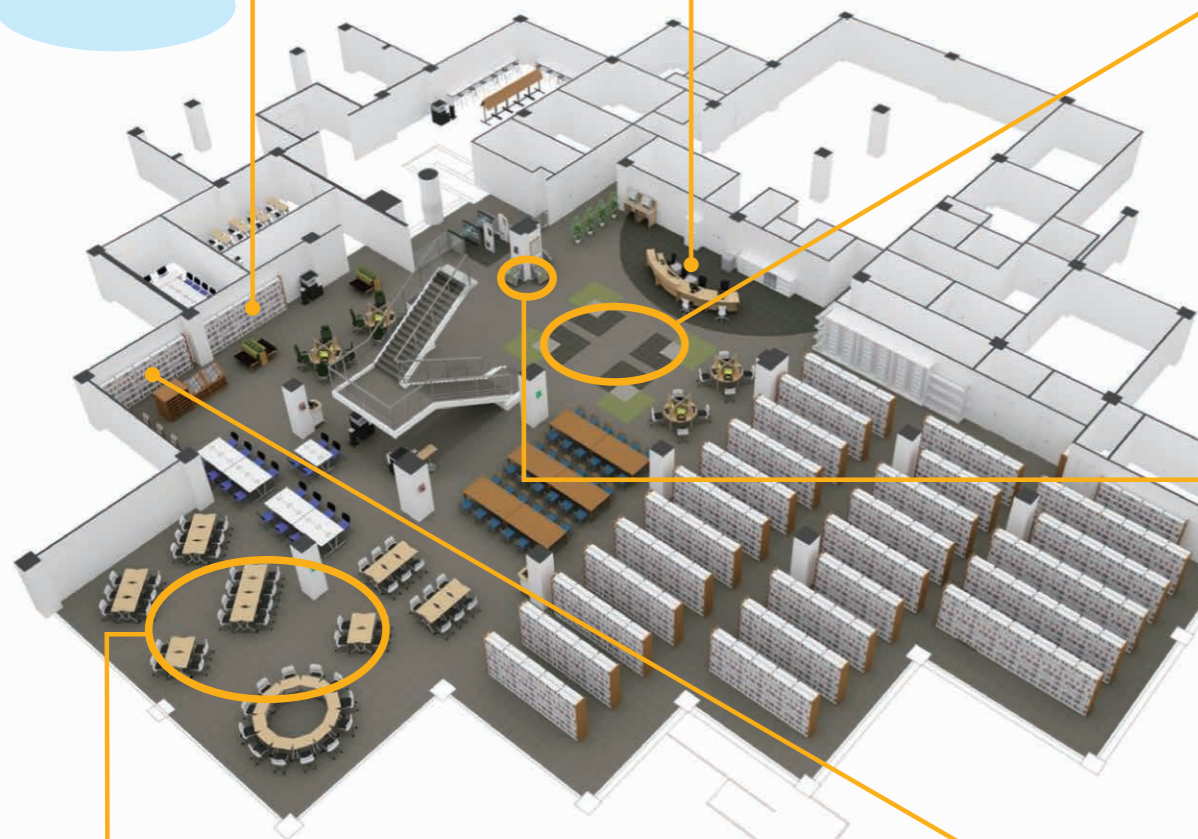
■閲覧席(静粛エリア)

●ここは私語、飲み物、PCや電卓等の音が出るものの使用が禁止されているエリアです。そのため、勉強を集中してやりたい、本を静かに読みたいと思う人には必見です。仕切りのない机の席はリニューアル前にはコンセントがありませんでしたが、リニューアル後コンセントがつけました。個人席は形がおしゃれで電灯がついているため外の光が当たらない席でも明るく利用することが可能です。(政経学部 3年)

●八王子図書館の静粛エリアは、多数机が用意されており、たくさんの人が利用することが可能です。パソコンや電卓などが使用禁止なので、まわりの音が気にならずに勉強できる場所になっています。また、机と机の間にはしきりがある場所もあるので、まわりを気にせず集中できます。さらに、近くの書架には辞書などの参考図書もあるので、分からないところがあればすぐに調べることが可能です。ちなみに、仕切りが付いている机には、ライトも設置されているので暗くなることはありません。(商学部 1年)



1F



■新着図書コーナー

八王子図書館の入退館ゲートを通ると、すぐ目の前に新着図書コーナーがあります。こちらのコーナーは、最近、図書館に入ればばかりの本が日付ごとに多数並べられています。注目の本は、見本カバーも展示されているので、チェックしてみてください。新着図書なので、誰よりもいち早く読むことができます!(商学部 1年)

■英語多読図書コーナー

英語多読図書コーナーは文字どおり、英語で書かれた本が多く置いてあるコーナーである。主に英語学習のときに利用し、課題に利用するときもある。このコーナーにある本はレベルごとに単語数や内容が違うので、自分のレベルにあった学習が可能である。英語の長文に抵抗がある人には「アリス」など親しみやすい本から入るのもお勧めである。また、中にはCDが入っている本もあるので、発話ブースで再生したり、本を近くのアクティブラーニングエリアに持ち込んで学習するのもよいだろう。(商学部 1年)



■2Fカウンター席

八王子図書館がリニューアルし、2Fにカウンター席ができました。今まで図書館での学習といえば、暗いところでのイメージがありましたが、ここは違います。窓から入ってくる太陽の自然な光で、勉強、読書、パソコン作業など、ますます集中できることまちがいない。勉強などの作業が思うようにはかどらず、集中しきれないときも、少し顔を上げるだけで大自然が心と頭をリフレッシュしてくれます。逆に、思った様に作業が進んでいる時に、気分よく自然観賞をしてさらに作業効率を上げましょう。(政経学部 1年)



■アクティブラーニングエリア

●アクティブラーニングエリアでは机や椅子を自由に動かすことができ、ホワイトボードやプロジェクターも使用できるため、グループでの話し合いやプレゼン練習のときに使うことに向いています。図書館リニューアル後は前より広く使えるようになり、大きな窓があるため八王子国際キャンパスの推しである外の緑もよく見え、開放感あふれる空間となっています。コンセントのある机もあるためPCを使いながらの話し合いもできます。(政経学部 3年)



●八王子図書館のアクティブラーニングエリアは、主に話し合いを目的としたスペースである。このエリアでは会話が可能であり、机も自由に動かせるので用途に合わせた使い方が可能である。さらに、スクリーンやプロジェクターも使えるので、プレゼンテーションにも利用しやすい。また、資料や検索端末、コピー機が近くにあるので、資料を用いての学習にも便利である。そして何より疲れたときには周りを見れば、緑に囲まれた景色が見えるので学習に適した環境といえるだろう。(商学部 1年)

B・MB

■地下書庫

八王子図書館にある地下書庫は、1階と2階の約5倍分の資料があります。和書・洋書、文庫・新書、雑誌・新聞のバックナンバーなど幅広い種類の資料を取りそろえています。OPACから検索した本は、サービスカウンターに納本を申し込むことで、資料を利用できます。また、地下書庫利用説明会に参加すると、地下書庫に入ることができます。自分の探している本以外の関連ジャンルの本や様々な資料を手にとって見ることが出来るので、便利です。資料は、タイトル名や出版社名、年月ごと、言語ごとなど資料によってわかりやすく分かれているので、すぐに探し出すことができます。もちろん、貸し出しできる本もたくさんあるので、ぜひ、利用してみてください!(商学部 1年)